20　次の文章を読んで、後の問に答えよ。 　〈筑波大〉　二〇一六年度出題

　大江千里、まかりかよひける女思ひかれがたになりて、「遠き所まかりにたり」と言はせて、ひさしうまからずなりにけり。この女、思ひわびて寝たる夜の夢にまうで来たりと見えければ、うたがひにつかはしける。

　［Ａ］　はかなかる夢のしるしにはかられてに負くる身とやなりなむ

　かくてつかはしたりければ、千里見はべりてなほざりに「まことになむ帰りまうで来しかど心地の悩ましくてなむありつる」とばかり言ひ送りてはべりければ、重ねつかはしける。

　［Ｂ］　思ひ寝の夢といひてもやみなましなかなか何にありと知りけむ （『後撰和歌集』による）

問１　傍線部分（イ）（ロ）（ハ）（ニ）（ホ）は、ａ大江千里、ｂ女のどちらの動作か、記号で答えよ。

問２　二重傍線部分（１）「思ひかれがたになりて」、（２）「なほざりに」、（３）「心地の悩ましくてなむありつる」を現代語訳せよ。

問３　Ａの歌を現代語訳せよ。

◎問４　Ｂの歌にこめられている心情について、説明せよ。

# 【解答と採点基準】

問１　（イ）＝ａ　　（ロ）＝ａ　　（ハ）＝ｂ

（ニ）＝ａ　　（ホ）＝ｂ

問２　（１）＝Ａ愛情がＢ薄れていくＣ頃になって

Ａ＝４／Ｂ＝４〔「愛情」の述語として「る」を訳せていたら可。〕

Ｃ＝２〔「ようになって」も可。〕

　　　（２）＝いい加減な気持ちで

　　　（３）＝Ａ気分がＢすぐれなかっＣたのだ

Ａ＝４／Ｂ＝４／Ｃ＝２

問３　Ａあてにならない夢の予兆にだまされて、Ｂ期待してもあなたは来てくれないという現実に従うＣ我が身となってしまうのだろうか。

Ａ＝４〔「しるし」は「予言・お告げ」なども可。〕

Ｂ＝４〔「」の具体的内容が訳せていなければ０。〕

Ｃ＝２〔疑問文の訳になっていなければ０。〕

問４　Ａ恋しいと思いながら寝たので夢に見たと言って済ませておけばよかったのに、Ｂ遠い所にいるから通って来れなかったはずの大江千里から返事が届いたため、Ｃ自分への思いが冷めたことからの言い訳だったことを思い知り、Ｄ歌を送ったことを後悔する心境。

ＢとＤがなければ全体０。

Ａ＝２〔上句の内容の説明ができていること。〕

Ｂ＝２〔「返歌さえ含まない、いい加減な返事」という説明も可。〕Ｃ＝３〔「自分への愛が冷めた」ことへの言及がなければ０。〕

Ｄ＝３〔「後悔」がなければ０。〕

# 【現代語訳】

　大江千里が、行き通っておりました女性への問２（１）愛情が薄れていく頃になって、「（千里は）遠い所に下ってしまいました」と（従者に）言わせて、長い間（その女性のもとへ）通わなくなってしまった。この女性は、思い悩んで寝ていた夜の夢で、（千里が）やって来たと見えたので、（遠い所へ行ってしまったというのを）疑わしく思って、（手紙を）届けさせた。

問３あてにならない夢の予兆にだまされて、期待してもあなたは来てくれないという現実に従う我が身となってしまうのだろうか。

　こうして（詠んで）届けさせたところ、千里が見まして、問２（２）いい加減な気持ちで「本当に一昨日に帰参したのだが、問２（３）気分がすぐれなかったのだ」とだけ、（手紙で）言って送りましたので、重ねて（女性は返事を）届けさせた。

　　　恋しいあなたのことを思いながら寝たから夢に見えたのだと言って終わ

ってしまえばよかったのに。（歌を送って確かめようとしたために）かえ

って京都に（あなたが）いるとわかったのだろうよ。